



江東エコリーダーの会は地元の環境・生物多様性に係ります

江東エコリーダー・ニュース49号

水彩都市江東 安全・安心まちづくりは 人と人の交流から

発行 江東エコリーダーの会 江東区潮見 1-29-7

E-mail: mail@koto.eco.to

みどりのカーテン 土づくり講座

プランターの土をよみがえらせて緑のカーテンを育てよう

日時・所：2016年 3月12日 江東文化センター

3月19日 江東区総合区民センター

運営： 江東エコリーダーの会

はじめに： 暑い夏を涼しく、さらに楽しませてくれた「みどりのカーテン」たちに感謝し、今年の夏に備えて、お疲れの土のリサイクル（再生）チャレンジ講座が開催された。

1. 土づくり講座「理想の土を考える」 石井匡志（樹木医）

① 土の物理性

i. 理想的な物理性「団粒構造」： 隙間がたくさんあること。空気と水のバランスが良い。土が固結しない。水はけが第一

② 土の化学性

i. 肥料の量： 多すぎると肥料やけがおこる。

ii. 肥料持ち： たくさん保持し、適量を放出してくれる。有機物が有効（帯電・交換可能）

③ 土の物理性と化学性と生物性「プランター栽培でどうするか」

i. 成長には物理性が最も重要：フルイで「みじん」を取り除き、隙間をつくる。新しい土を足す。

ii. 育てるには化学性が重要：有機物を入れてタイミングをコントロール。肥料の大量施用は厳禁。

iii. 持続的な成長には生物性が重要：プランターではあまり考えない。露地では積極的に考える。

④ 連作障害

i. 化学性の崩壊：

・肥料過多—肥料成分の蓄積（特に窒素）—病気の多発、軟弱化

・肥料バランスの崩れ—石灰過剰、苦土不足—高 pH 化、リービッチの法則

ii. 生物性の崩壊： 有害生物・微生物の繁殖、有機物の不足

iii. 物理性の崩壊： 耕運による耕盤と団粒構造の破壊

・土中の根と残滓を取り除き、病原体を取り除くことが重要。

2. 生ゴミから堆肥作り講座紹介 綾部吉行（江東区清掃リサイクル課長）

日本では1年間に500-800万トンの食品（一人当たり60回分の食事量相当）が捨てられている。

消滅型（ベランダ de キューロ、森のしくみ）、堆肥化型（段ボールコンポスト、EMぼかし）

3. 土づくり体験講習： 山田政雄+江東エコリーダーの会



生ゴミから堆肥作り講座



土づくり体験講習

